

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関(採卵・胚移植を行う医療機関)における情報提供事項(必須回答)
 令和3年3月1日 現在

医療機関名： 西村ウイメンズクリニック

住所： 浜松市中区上島6-30-3

区分	内容		回答
配置人員 (※1)	産婦人科専門医		2.0名
	うち、生殖医療専門医		2.0名
	泌尿器科専門医		0.0名
	うち、生殖医療専門医		0.0名
	看護師		8.0名
	胚培養士/エンブリオロジスト		5.0名
	コーディネーター		1.0名
	カウンセラー		1.0名
治療内容 (※2)	治療の種類	年間実施件数(2020年)	費用
	人工授精	1,294件	30,000円
	体外受精+新鮮胚移植	380件	250,000~400,000円
	凍結融解胚移植	922件	140,000円
	顕微授精	161件	1個あたり、11,000円
	精巢内精子回収術	5件	60,000円 ※手術は浜松医大
実施事項	自医療機関の不妊治療の結果による妊娠に関して、公益社団法人日本産科婦人科学会における個別調査票(治療から妊娠まで及び妊娠から出産後まで)への登録を行っている。		はい
	自医療機関で分娩を取り扱わない場合には、妊娠した患者を紹介し、妊娠から出産に至る全ての経過について報告を受ける等、分娩を取り扱う他の医療機関と適切な連携をとっている。(自医療機関で分娩を取り扱っている場合は回答不要)		はい
	医療安全管理体制		
	①	医療に係る安全管理のための指針を整備し、医療機関内に掲げている	はい
	②	医療に係る安全管理のための委員会を設置し、安全管理の現状を把握している	はい
	③	医療に係る安全管理のための職員研修を定期的実施している	はい
	④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策を講じている	はい
	⑤	自医療機関において保存されている配偶子、受精卵の保存管理及び記録を安全管理の観点から適切に行っている	はい
	⑥	体外での配偶子・受精卵の操作に当たっては、安全確保の観点から必ずダブルチェックを行う体制を構築しており、ダブルチェックは、実施責任者の監督下に、医師・看護師・胚培養士/エンブリオロジストのいずれかの職種の職員2名以上で行っている。	はい
	倫理委員会を設置している ※委員構成等については、公益社団法人日本産科婦人科学会の会告「生殖補助医療実施医療機関の登録と報告に関する見解」に準ずる		はい
	公益財団法人日本医療機能評価機構の実施する医療事故情報収集等事業に登録・参加している		はい
不妊治療にかかる記録については、保存期間を20年以上としている		はい	
里親・特別養子縁組制度の普及啓発等や関係者との連携を実施している		はい	

毎年3月1日時点の状況について記載すること。

ただし、「年間実施件数」については、記載可能な直近の1年間のものを記載すること。

(※1)

- ・不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件に関する指針(別紙1-1)の「実施医療機関の配置すべき人員の基準」を遵守し、正確に記載すること。
- ・人員の算出は、常勤換算で行うこと。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している医師を常勤医師とし、その他は非常勤医師として常勤換算する。(医療法第25条第1項)
- ・胚培養士/エンブリオロジストについては、生殖補助医療胚培養士又は臨床エンブリオロジスト等の認定を受けている者又は大学において胚培養に関する専門的な教育を受けた者であって胚を取り扱う業務に従事しているものを記載すること。ただし、産婦人科専門医又は泌尿器科専門医が兼務している場合は、人数に含めない。
- ・コーディネーターおよびカウンセラーについては、産婦人科専門医・泌尿器科専門医・看護師・胚培養士/エンブリオロジストが兼務する場合には、コーディネーターおよびカウンセラーには含めないこと。

(※2)

- ・人工授精は、月経周期開始から人工授精実施、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、卵巣刺激等にかかる費用も含めた総額(標準的な費用)を記載すること。
- ・体外受精+新鮮胚移植は、卵巣刺激、採卵/採精、前培養/媒精/胚培養、新鮮胚移植、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、これら一連の治療周期にかかる総額(費用が比較的低い患者と高い患者の場合)について記載すること。
- ・凍結融解胚移植は、凍結胚の融解、移植、黄体補充、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、これら一連の治療周期にかかる総額(標準的な費用)を記載すること。
- ・顕微授精にかかる費用については、未受精卵1個に対し、顕微鏡下に精子を注入する手技のみにかかる標準的な費用を記載すること。
- ・精巣内精子回収術は、SimpleTESEをさす。費用については、手術にかかる標準的な費用を記載すること。

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供事項(任意回答)

令和3年3月1日 現在

医療機関名： 西村ウイメンズクリニック

住 所： 浜松市中区上島6-30-3

治療実績について

当院において、データの揃っている直近の1年間(2018年1月から2018年12月まで)に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚(卵)を用いた治療実績】

区分	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数	136回	5回	53回	194回
移植総回数	1回	0回	0回	1回
妊娠数	0回	0回	0回	0回
生産分娩数	0回	0回	0回	0回
移植あたり生産率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

IVF-ET: 採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split: 採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI: 採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療実績】

区分	融解胚子宮内移植
移植総回数	313回
妊娠数	174回
生産分娩数	134回
移植あたり生産率	42.8%

来院患者情報

当院において、データの揃っている直近の1年間(2018年1月から2018年12月まで)に、体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数(実数)は以下の通りである。

区分	人数
25歳未満	2名
25歳以上30歳未満	46名
30歳以上35歳未満	204名
35歳以上40歳未満	313名
40歳以上43歳未満	210名
43歳以上	89名

合計： 864名

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供事項(任意回答)

令和3年3月1日 現在

医療機関名： 西村ウイメンズクリニック

住所： 浜松市中区上島6-30-3

来院患者情報

当院において、データの揃っている直近の1年間(2018年1月から2018年12月まで)に精巣内精子採取術を行った患者数(実数)は以下の通りである。

区分	人数
20歳未満	0名
20歳以上30歳未満	0名
30歳以上40歳未満	5名
40歳以上50歳未満	3名
50歳以上	0名

合計： 8名

治療指針について

※ 施設における統一された治療指針がある場合は記載

- 1.基本的にタイミング法より開始し、AIHへ。さらに希望に応じてARTへステップアップしていく。年齢や卵巢予備能(AMH値)を参考に早めにステップアップを要する場合がある。
- 2.高齢者では、ARTを意識させる。若年者でも、AMH低値(卵巢予備能低下)症例では、ARTを意識させる。
- 3.一番効率の良い採取卵子数は、10個前後と言われており、基本的の中～高刺激を行う。自然周期採卵は、卵子数が極めて少なくなってしまう患者に行うのみ。自然周期採卵は最も効率が低い方法と認識している。
- 4.ほぼ全例に全胚凍結を実施し、ホルモン補充下に凍結胚移植を行う。(新鮮胚移植は極めて少数)特に、若年者では、一回の採卵で複数回、胚移植を行うことにより、2～3人の子供を手に行っている患者が多数存在する。
- 5.着床前診断の実施施設として認定されていることもあり、基本的に10個くらいの採卵を目指している。